

No.	総務委員会での主な意見	答申案への反映状況
1	成果指標の設定における「基準値」の表現は、「実測値」とすべき。	第1章創造戦略の成果指標に記載する「基準値」の表現について、「新まちづくり計画」の表現と合わせて「現状値」に修正
2	貧困対策の打ち出しが弱い。中小零細業者など、働く人たちの収入が確実に増えていくような対策も大事。札幌市でこれまで着実に積み上げてきたもの（住宅リフォーム条例や公契約条例など）があるので、それを生かした上で、この戦略を具体化していただきたい。	第1章創造戦略第1節「暮らし・コミュニティ」の戦略の設定に、「高齢単身世帯の増加や貧困等の様々な要因による社会的孤立の顕在化などに対応して」に修正（P6）
3	今ある社会資源を生かすことも含めた共生の取組についても、今後検討していただきたい。	第1章創造戦略2-①「地域で共生する環境づくり」の主な取組に、「学校や福祉施設など多様な社会資源を活用した多世代交流の場の創設」に修正（P16）
4	空中回廊や地下歩行ネットワークなど積雪寒冷を踏まえた取組をしっかりと位置付けるべき。（駅周辺への高齢住宅整備にも言及）	第1章創造戦略3-③「雪と共存した暮らしの推進」の主な取組に、「冬期間も快適な歩行空間の創出促進」を追記（P29） 第2章都市空間第3節「快適な歩行空間の創出促進」の表現について、「高齢者を始め、誰もが冬期間でも安心・快適に移動することができる空間を創出」に修正
5	想定している有望な観光海外プロモーション先を例示すべき。	第1章創造戦略4-②「魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進」の主な取組に、「タイやインドネシアといった」を追記（P36）
6	ロシアは、環境、エネルギー、医療、食糧などポテンシャルがあるので、もう少し強調してもよいのではないか。	第1章創造戦略5-①「世界の活力を取り込む国際戦略の展開」の主な取組に、「食関連企業や、積雪寒冷地向けの製品・技術を持つ企業等のアジアやロシアを含む北方圏などへの海外展開を支援するため」に修正（P43）